

退職者 NO.103
こだま会報



憲法擁護・平和・脱原発 社会保障運動の前進へ

目次

- ・コラム「散歩道」…①
- ・大山阿夫利神社の紅葉観賞・ハイキング／福島復興応援バスツアー案内／お勧めの一冊…②
- ・こだま俳壇／歴史教室(講義)／予告…③
- ・会員紹介(井坂房子さん) …④
- ・県職員平和の集い／映画随想…⑤
- ・神奈フィル争議支援サンクスコンサート／輝け高齢期神奈川の集い…⑥
- ・食文化を楽しむ会(薬膳料理)／消費税増税は社会保障のため? …⑦
- ・絵手紙／こだま句会吟行…⑧

「神奈川県庁自転車クラブ」の仲間9人で年末の12月29日、自転車旅行をしました。コースは、茂林寺(群馬県館林市)→城沼公園→渡良瀬遊水地→古河(泊)→渡良瀬川→利根川→江戸川→金町。写真は城沼公園の寒桜です。(鳥居伸太郎)



「金」です。しばらくは障害者施設や介護老人施設等のボランティア活動等をして参りました。

運営資金がなければ、「どうにもならない」「当面は採算の取れる活動をしよう」でなければ、せつかく

各地のシャッター商店街を探し求めて1年ほど歩き、賛同する方たちに義援金を募ったりしました。が、残念ながら「主旨は賛同するが、出資は別」との返事でした。

NPO活動の原則は「人」「もの」「金」です。しばらくは障害者施設や介護老人施設等のボランティア活動等をして参りました。

NPO活動奮戦記

吉澤 靖夫

散歩道

人生90年時代となり、余生を現役と同じような環境で生活できる状態にするにはどうしたらよいか。毎日が日曜日であることから、犬の散歩をしながら徒然に考えました。世のため、人のためになることは…何か?

設立した団体が消滅してしまう。夢は先送りして、介護予防の観点から毎日元気に暮らす基本として、栄養バランスの取れた食事が原点であると考え、一念発起し、日本政策金融公庫より500万円の融資を受け、2011年より高齢者向け配食サービスを始めました。店舗の借用、什器類、食器類の整備など、果たして軌道に乗るか、不安でした。リスクはあるが、最悪は年金で食べて行ける。「どうにかになるさ」で営業を始めました。

新たな事業として2012年7月、「福祉有償運送サービス」を始めました。藤沢市役所を経由して、神奈川運輸支局の認証を受け活動を始めました。世の中には高齢化や脳梗塞を患って歩行困難になった人が大勢います。自家用自動車を持ち込み、通常タクシーの半額で、現在の利用会員は83人。「通院」がほとんどですが、時には募参りや親族の慶事等ニーズはたくさんあります。

お弁当配達サービスもやっと採算ベースとなりましたが、追加融資を受け、いつまでたっても気が許せん。

これが刺激となって健康が保持されているのかもしれない。



阿夫利神社下社にて



見上げるような急坂

天候に恵まれた昨年の11月28日、
こだま会・テクの会の「大山阿
夫利神社の紅葉観賞とハイキング」

大山の紅葉 と ハイキング を満喫

こだま会
てくテクの会

が行われました。小田急「伊勢原駅」北口に10時集合。参加者は10人。

まずは、大山ケーブルカーのバス停前で、歩く前の元気な姿で記念撮影。

さっそく女坂を登ります。ここから上が、見上げるような急坂です。これが女坂？ 男も「ハアハア」。

急坂の途中にある大山寺の少し手前の見事な紅葉や、素晴らしい十一面観音が疲れを癒してくれました

そして、阿夫利神社下社に到着(標高696m)。急坂を全員完歩しました。さあ、ビールだ…。

福島復興応援バスツアー

福島復興応援バスツアー

- と き ● 2014年5月14日(水)～15日(木)
- 集 合 ● 5月14日(水) かながわ県民センター前 8時30分
- 解 散 ● 5月15日(木) かながわ県民センター前 19時ごろ
- 内 容 ● 福島県原発20キロ圏内の視察他
- 泊 泊 ● 飯坂温泉みちのく荘(地共済保養所)
- 費 用 ● 25000円(宿泊費・昼食代・バス代・保険料等)
- 募集人員 ● 25人(定員になり次第締め切り)
- 締 切 ● 3月31日末

下りはケーブルカーで、ラクチン。らくちん。てく・テクの会のみなさんは、みな健脚ぞろいです。少し遅い紅葉を鑑賞しながらの、ハイキングでした。(友井眞言)

今年の「てく・テクの会」の予定は次の通りです。開催近くになったら、こだま会ホームページなどでも、改めてご案内致します。お気軽に参加を。
・「開成町のアジサイの里とアサヒビール工場見学」(6月上旬)
・「七沢森林公園の紅葉散策と小金井酒造見学」(11月末)

おすすめの1冊

『絵ごよみ 昭和の暮らし』
母たちが子どもだったころ

亀井三恵子著

1600円+税

著者は84歳。現在漫画家。『しんぶん赤旗』に2175回を超える長編漫画『台所剣法』を連載中の、女性漫画家の草分けのひとりです。どこにでもある山国の町場、魚問屋育ちの昭和世代の暮らしぶりを、漫画とエッセイで生きいきと愉快地



描いています。

「みんな心のなかに『子どもの頃』という宝物を持っています」と著者。その頃を遊び、祭りや買い食いなど、ああ、こんなこともあったんだなあと、懐かしく、楽しく思い出させてくれるでしょう。

河出書房新社 2013年8月刊。

(木村武子)

こだま俳壇(1月)

日脚伸び空家いくつか坂の町 坂 守
 磨かれたガラスの店に初荷かな 柳瀬 節子
 なまはげが心の中に居たりして 高橋 和枝
 初日の出犬も黙して坐りおり 田中 一男
 寒鯉の本物らしき動きかな 松尾佐知子
 鬱の子をポニーの背なに馬場始 小川 水草
 清めきて一人の影や初明り 三井 光子
 元旦の街寂としてランニング 友井 眞言
 食前の鯛で言祝ぐ年初め 白井保次郎
 頭上にて孫の声して年明ける 中村 桂子
 あつあつの七種粥の青き味 島田多嘉子
 お正月だあれも来ない雨が降る 井村 友彦
 上置きの芹子香り立つ赤き椀 木村 武子
 去年今年間暗闇の中に声 鳥海 敏雄
 蓮枯れて水面に青空色を添え 横川美代子
 福寿草盃のごと天を向く 松本 正治
 勝独楽の紐にしごきを加へけり 太田 士男

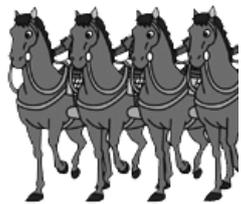
第55回 歴史教室 (講義)

「鎌倉府」の成立と崩壊

昨年の11月29日(金)午後、県職労連会議室で講義(講師・生方武羅夫氏)と総会を開催しました。出席者は12人。

講義「鎌倉府」の成立と崩壊①

鎌倉幕府滅亡後、足利尊氏により室町幕府が成立したことはよく知られている。室町幕府の地方政庁「鎌倉府」について今回、知ることができた。以下は要約。



(1) 「鎌倉府」は東国(関東)から甲斐、伊豆、陸奥、出羽)を管轄する(支配)幕府の地方政庁であった。
 (2) 幕府、鎌倉府とも長である将軍、公方は、足利氏の世襲であった。将

軍は初代尊氏から15代義昭。公方は初代義詮から5代持氏で中断後、6代成氏。
 (3) 尊氏が後醍醐天皇を追放し、

光明天皇を擁立し、明徳3年(1392)まで、南北朝が56年続いた。

(4) 幕府将軍と鎌倉府公方との対立、和解を繰り返し、公方5代持氏の死で「鎌倉府」は中断する。

(5) 鎌倉府の管領、執事(公方の補佐役)に越後の上杉氏が登場する。
 (6) 5代持氏の時代の管領上杉禪秀の乱は、当時の支配体制である惣領制の解体につながった。

(1) 経過報告、会計報告を承認
 今回は生方武羅夫氏の好意により、講義と総会を開くことができた。感謝です。
 (2) 決定事項
 ① 講師・ガイドを生方武羅夫氏に。
 ② 年会費2000円。年に2回「散策」と「講義」。
 ③ 当面、事務局を佐藤喜治氏と湯川勉氏に。会計など会員の協力を。
 ④ 次回は本年4月頃、散策を実施。(最後に拙句)
 戦乱に君も将も紅葉散る(湯川 勉)

(まとめ)
 「鎌倉府」が5代持氏の死で中断し、崩壊に向かう。越後上杉の登場など、武家政治の安土桃山時代にどうつながるのか。続編が楽しみ。

予告!! 予告!! 予告!!

●歴史教室(散策)第56回

とき 3月28日(金)10時集合
 13時30分~15時30分

集合 JR「鎌倉駅」東口改札前
 午前10時

テーマ 「鎌倉府」ゆかりの地を訪ねる

講師 生方武羅夫氏(会員)

会費 500円(交通費・昼食代別)

申込先 こだま会事務所045(212)3179
 または佐藤喜治045(361)0112

●囲碁同好会

月例会 毎月第1日曜日12時~

場所 「囲碁サロン」JR藤沢駅南口そば

申込先 こだま会事務所045(212)3179

●俳句サークル「こだま句会」

月例会(毎月第2木曜日13時~)

3月13日/4月10日/5月8日

ところ 県庁本庁舎6階会議室

指導 太田士男先生(俳人協会)

会費 800円

申込先 こだま会事務所045(212)3179
 または井村友彦0463(81)4493

=====
 こだま会第30回定期総会

とき●6月21日(土)

ところ●かながわ労働プラザ(石川町)
 JR「石川町」下車徒歩5分

受付●10時

議事●10時30分~12時

懇親会●総会終了後12時30分から
 (かながわ労働プラザ9階
 レストラン)



-39-

1943年、長野県の飯田に生まれ、5歳までそこで過ごし、その後、福島県田村郡に3年、岩手の大船渡、盛岡、宮城と東北で育ち、20歳の誕生日に東洋一という採用ふれこみの神奈川県立長沢学園(精神薄弱児施設。いまは知的障害児という)に就職。以後、横須賀に在住して50年過ぎました。

* * *

当時の神奈川県は、福祉にも力を入れていたのでしよう。九州、四国、東北と、全国から職員を集めていました。新設の施設に、新卒の若い保母が14人も入り、元気澁刺な職場でした。四畳半一人部屋の寮生活は快適でした。

それから少しして、利用者の処遇改善と、働きやすい職場にしようとして、県職労本部に相談して、分会を立ち上げました。三交代勤務職場で、共働きなどない時代でしたが、社会情勢は少しずつ変わり、一人、二人、三人と結婚する職員が増えまし

た。それから困ったのは、保育体制。地域の保育園では朝・夜・日・祭日は、保育してもらえません。私は、一人目の時は近所の家で見てもらいましたが、二人目の時は困りました。

職場保育所づくり

そんな時、共同保育所というものがあることを知り、「自分たちも作るう」ということになり、初めは自

素晴らしい仲間と組合に恵まれて

井坂 房子さん



宅を開放。「親が働いていても、子どもたちに寂しい思いをさせたくない」「規則正しい生活の確保を」という思いを共有し、昼間は人を頼み、朝晩は早番、遅番の親の勤務外のシフトを組んで、お互いの子を見合いました。当局には「職場保育所にしてほしい」と要求を出し、組合に支援をもらい、よく交渉しました。長洲知事になって補助金がでるようになり、助かりました。

利用者の処遇で運動

利用者の処遇でも、障害者も人並みに成長できるようにと勉強会や支援体制の在り方等の研究会をよくやりました。若いということは素晴らしい！いろいろなことができました。

退職1年前に伴侶をなくし：

時代も高度成長期で、活気がありましたね。ずいぶん、要求前進もありました。素晴らしい仲間と組合に恵まれました。素晴らしい仲間と組合に恵まれ、大きな病気もせず、40年間働き続けられたことはうれし限りです。退職1年前に伴侶をなくし、気落ちしました。彼が病気で辛い時も、私が仕事や組合活動、地域活動をするのを嫌がらず、応援してくれたので、その気持ちを大事に受け止めて、引き続き前向きに気を引き締めて、いまに至っています。退職して10年、初めの2、3年は、山登りや外国旅行に連れて行ってもらう余裕がありましたが、年々忙しくなり、最近では1日家にゆっくりいることがなくなってきました。

地域の人たちとともに

町内会の婦人部の役員や、社協の福祉推進委員などの依頼を受けるなど、いままでも何も知らなかった地域の人たちを知り、老人会に誘われ、歌ったり踊ったりしながら、地域の状況がわかるようになってきました。「九条の会」で地域に署名に入りますが、学習会を企画したりしますが、参加者が増えないことが悩みの種です。

息子が市議会議員をしているので、月1回の議会報告ニュースを配ったり、選挙の時は、支持を依頼して回ったりしています。他にもいろいろありますが、こんな調子でこれからも忙しく過ぎていくと思います。健康であることを願いつつ

世の中の情勢は目を離せない状況ですが、みんなが安心してくらせる社会、生まれてきてよかったという社会をめざして、自分のできることをやっていきたいと思っています。健康であることを願いつつ。

生活を破壊する憲法「改正」 『秘密保護法』は 戦争できる国づくり の一環

県職員九条の会が「平和の集い」



講演する北神英典弁護士

県職員九条の会は昨年12月7日、「平和の集い」を県庁近くの波止場会館で開催。「憲法をめぐる情勢を読み解く」のテーマで、北神英

典弁護士の講演を聞きました。

この日は、特定秘密保護法が参議院で強行可決された翌日。話の内容も「いま、アメリカから世界戦略として米軍の指揮下で自衛隊が海外で闘う軍隊となることを要請されている」「自民の悲願は憲法改正」「特定秘密保護法は戦争できる国づくりの一環」と明快でした。「こうした動きを止めるには、戦争を体験していない世代が大半のいま、若い人に戦争の話をしていく体験者の役割發揮を期待」と強調しました。

もたちには、「ベトナム戦争などの実態を示し、戦争は他人事でなく、自分や家族を傷つけ、普通の生活を破壊してしまう」ことを知らせる大切さを指導しました。

そして、「はだしのゲンの表現は残酷だ」と子どもたちに見せないようにする動きがあるが、原爆の被害は悲惨だ。知ることを妨げることは許されない」と県内で起きていることにとりくむことの重要性が話されました。

いまこそ憲法の意義を語って行きましょう。
(佐伯義郎)

③ 『七人の侍』(1954・黒澤明)

これはもう日本映画のスケールを超え、世界映画史に残る作品として位置づけられているので、いまさら記すこともないだろう。世界中の多くの監督が手本としており、スピルバーグは新作のクランク・イン前に必ず鑑賞しているという。

④ 『麦秋』(1951・小津安二郎)

この作品と『東京物語』、『晩秋』が小津の三大名画とされている。『麦秋』にながれる無常観や輪廻観にはいたく共鳴する。家族の描き方が冷たい、と山田洋次は語るが、そこが小津安二郎の眼なのだ。小津48歳、

逝去まで12年が残されているが、『麦秋』を超える映画は遺していない。

⑤ 『土』(1939・内田吐夢)

漱石が絶賛した長塚節原作の映画化作品。日本のリアリズム映画の最高峰と讃えられている。小作農の一

わが生涯の ベストテン (下)

田中一男

反戦的な映画ではなからうかと思うのだが、もっと評価されて良い作品だ。

⑦ 『西鶴一代女』(1952・溝口健

二)

特にフランスでの評価が高い溝口映画の中でも出色の作品。零落してゆく女を見つめる眼が冷酷で、凄まじい。田中絹代なくしては完成でき

なかった映画。

⑧ 『天国と地獄』(1963・黒澤明)

サスペンス映画の最高峰。最盛期のクロサワ映画は、何度みても面白い。当時のヨコハマの風景が懐かしい。

⑨ 『にっぽん昆虫記』(1963・

今村昌平)

完成度では次作の『赤い殺意』だが、なりふりかまわない直線的でエネルギーギッシュな演出がイマヘイ流なのだ。恥も外聞も捨てて生きる女の生感が、凄い。

⑩ |

これから現れるであろう新しい映画に期待し、あえて空欄にします。

映画随想 12



神奈川フィル分会室内合奏団ための新曲を披露

神奈フィル争議勝利へ 「Xmasサンクス・コンサート」 に330人

県労委に神奈フィル分会
敵視の「議事録」を提出

「杉本さん・布施木さんの解雇を撤回させ、神奈フィルを良くする会」主催の「xmasサンクス・コンサート」が昨年の12月13日、戸塚区民文化センター・さくらプラザで行われ、330人が参加。安藤久義さん（会呼びかけ人）が神奈川フィル分会室内合奏団のために作曲した曲も披露され、素敵な演奏に、心地よいひと時を過ごすことができました。

県労委は3月5日に結審

誰もが元気でいきいき生きる

「第9回輝け高齢期かながわのつどい」に490人

戸塚公会堂で昨年の11月22日、「第9回輝け高齢期かながわのつどい」in よこはまが開かれました。開会は10時。会場のホールは熱気あふれる元気な仲間であらわしい。私はまだ高齢期だと思っていない、参加するまでは。でも大きな間違いに気づきませんでした。県内から490人もの参加です。10時から16時半過ぎまでびっしり。

* * *

午前は全体会。吉田万三さんの記念講演「参議院選後の情勢と社会保障のたたかい」では、情勢と闘いを実践に基づいて講演。



戸塚で開かれた「高齢期かながわのつどい」

この間、楽団の評議委員会で公務一般労組神奈川フィル分会を敵視し、対応を協議していることが明らかになる議事録を証拠として提出。解雇の不当労働行為性が明確になってきました。県労働委員会は、3月5日が結審となります。

勝利命令を勝ち取り、二人の一日も早い、職場復帰を勝ち取れるよう運動を強めていきましょう。

(小島八重子)

全日本民医連の生活保護実態調査（民医連事業所の患者で、生活保護

利用者で調査協力に応じた人）で、生活保護受給に至る経過では「疾病による失業」が多く、9割以上の人が支出を切り詰め、「食事回数」は1日2回

以下が3割以上、「入浴回数」は週2回以下が半数、3回以下にすると7割、「地域との付き合い」では町内会費を含めゼロが3割弱、地域行事に全く参加しない人が7割以上と孤立している実態、健康で文化的とは程遠い実態が報告されました。

* * *

午後は、「健康で生きいき健康と文化の企画」「いま聞いてみたいエッセイ」「地域から一人ぼっちの高齢者をなくす実践の交流」の3分科会でした。

「生きいき」に参加したのでその報告です。寸劇で年金問題を取り上げた場面は、黒子が活躍で会場全体爆笑の渦。コーラスは皆で元気に声を腹の底から出すことの活力。セラバンド体操や座ったまま体操は今後おすすめ。

* * *

最後の全体会は、講師・田辺鶴瑛さんの「ふまじめ介護かく語りき」。自分の介護体験を赤裸々に、ビデオも交えネタにし、自分をもプラス方向にしていた、涙と笑いの講演でした。そして、松平さんのトランペットと合唱で、皆で元気になりました。

朝から夕方まで、びっしりの日程でした。元気に生きいきと生きる秘訣ですね。

(植木眞理子)

風邪に負けない 薬膳料理 に挑戦

食文化を楽しむ会

昨年の11月28日、横浜駅から徒歩

10分の所にある横浜市の西地区センター1調理室で、食文化を楽しむ会の「風邪に負けない薬膳料理」の教室がありました。指導は亀井禎子さんがありました。指導は亀井禎子さん。献立は「生姜と油揚げ入りご飯」「れんこん団子汁」「白身魚の甘酢あ



加瀬 文隆さん
(こだま会代表幹事)

昨年12月の毎日新聞に発表された世論調査によると、「不安に思っていること」のトップが「年金に不安83%」でした。2004年の年金制度改定で、当時の坂口厚労大臣が「100年安心年金」と喧伝したことを過去の話と葬り去るわけにはいきません。自公政権に落とし前をつけて

んかけ」「黄菊とほうれん草のおろしあえ」「金針菜と人參、鶏肉の煮物」。紙面の都合で「白身魚の甘酢あんかけ」のレシピを紹介します。

少々、醤油大匙2分の1、トマトケチャップ大匙1・5、スープ2分の1カップ、片栗粉大匙1。



〔材料〕 4人前

白身魚の切り身：250g 揚げ油。下味用：塩、胡椒少々、酒大匙1・5、片栗粉少々。

衣用：卵1個、片栗粉大匙2、小麦粉大匙2・5、水。葱1本、生姜1かけ、んにく1片。甘酢：砂糖大匙3、酢大匙4、塩

①白身魚の骨、皮を取り除きひと口大に切り、下味をつけてから片栗粉をまぶす。②ボールに卵を割りほぐし、粉類を混ぜて水を加え、衣をつくる。③甘酢の材料を合わせ置く。④揚げ油を熱し、衣をつけた魚を揚げ、皿に盛る。⑤鍋に油大匙2を入れ、んにくと生姜をみじん切り、葱は荒めに切って炒める。香りが出たら甘酢を入れ

もらいたいものです。

しかし、来年度予算案では、防衛費2・8%増、公共事業費12・9%増、法人税の引き下げ、その一方で消費税増税と、年金はじめ社会保障

した「社会保障プログラム法」に端的に表れています。

第二章「講ずべき社会保障制度改革の措置等」の最初に書かれているのが、「自助・自立のための環境整備等」です。「自助」

消費税増

本当に社会保障のためか

制度の改悪が目白押しです。「消費税は社会保障のため」は完全に反故にされています。

自公政権が考える「社会保障のあり方」は昨年12月に強行採決・成立

を基本にするということです。「自助」で「自助」

の共同体の助け合い」と「公助」国や自治体の支援」がまったく抜け落ちていきます。

「自助」自分や家族の助け合い」のことは、私たちが考えるので余計

煮立て、片栗粉の水溶きでとろみを付け、揚げた魚にかける。

5品をいただいても肥満に結びつくような献立でなく、しっかりと体が温まり風邪対策に効果満点を確信しました。(鳥居伸太郎)

なことはしないでくれ。政府は『公助』の充実をまず第一に考えてくれ」と、声を大にして言いたいと思います。そうでなければ、増税を唯々諾々と認めることは出来ないのは道理ではないでしょうか。

蛇足ですが、名護市長選挙で自民党が、「500億円の名護振興基金(国民の税金)」をちらつかせて市民の票をかすめ取るうとしたこと、あきれ返ると同時に、稲嶺市長の再選を選んだ市民の皆さんに敬意を表したいと思います。

「こだま会」加入呼びかけを

- 「一人ぼっちの高齢者をなくそう」と、こだま会は1350人を超える組織になり、様々な交流をしています。
- 今年の3月末、県庁退職者「かもめ会」が解散になり、退職者の交流する場がひとつなくなります。
- そこで、「かもめ会」のみなさんを始め、「こだま会」未加入者に加入を呼びかけようと、とりくんでいます。この機会にぜひ「こだま会」に加入されるようお誘いください。
- 年会費 3000円/終身会費 25000円。
- 主な事業：火災・自動車など共済、サークル交流、高齢期運動、九条の会など。
- 詳細は「こだま会」事務局まで。045(212)3179 (毎週火曜日)

冬の相模灘と富士

昨年(2013年)の12月5日、こだま句会の吟行を開催しました。太田土男先生と参加者は大磯駅に9時30分に集合。抜けるような初冬の青空と陽光が我々一行11人を出迎えてくれました。

* * *

駅前からバスに乗り「城山公園前」で下車。まずは旧吉田茂邸に向かいました。屋敷は先年惜しくも火災で焼失し、現在は再建の基礎工事中ですが、広大な庭園は散策できました。手入れの行き届いた薔薇園や日本庭園、海を向いて立つ吉田茂銅像が印象的です。

こだま句会吟行

小六月宰相像に酸性雨

太田 土男

松竹梅揃い別邸冬温し

松尾佐知子

小春日の吉田翁像顔東

鳥海 敏雄

冬ばらや老いを忘れてうたを詠む

木村 武子

水仙の花の生命に吉田邸

松本 正治



旧吉田邸にて

偉人飼いし犬達の墓冬の風

白井保次郎

庭園から続く散策路には石路の花が咲き、眼前には風いだ相模灘が望まれます。

石路の黄の輝く散策路

島田多嘉子

石路の花ひたに向きおり相模灘

田中 一男

吉田邸から県立城山公園へ。ここで各自が昼食をとり、散策と吟詠をしました。

西には世界遺産に登録されたばかりの富士山が良く見えます。相模灘も雄大です。

西には世界遺産に登録されたばかりの富士山が良く見えます。

相模灘も雄大です。

相模灘も雄大です。

相模灘も雄大です。

相模灘も雄大です。

相模灘も雄大です。



鳴立庵

相模灘青しまた黒し冬に入る

田中 一男

団栗の虫食ひ穴や古墳

群 坂 守

一行は句会会場である「鳴立庵」に向かいました。

落葉踏みゆく大衆の声

したり 太田 土男

紅葉に吸ひ込まれゆく

俳諧師 鳥海 敏雄

駅伝の靴音近し鳴立庵

友井 眞言

吟行といふ小さき旅冬

帽子 坂 守

冬晴れや石の彫刻北前

船 井村 友彦

会場の「鳴立庵」は京都の落柿舎、滋賀の無名庵とならぶ日本三大俳諧道場のひとつです。由緒ある庵で句会を開くことで、一同の句境も上がったようです。

終了後、鳥崎藤村旧邸を見学。土産などを買い、大磯駅で解散しました。

(文責・田中一男)

絵手紙



奥津弘久さんの作品